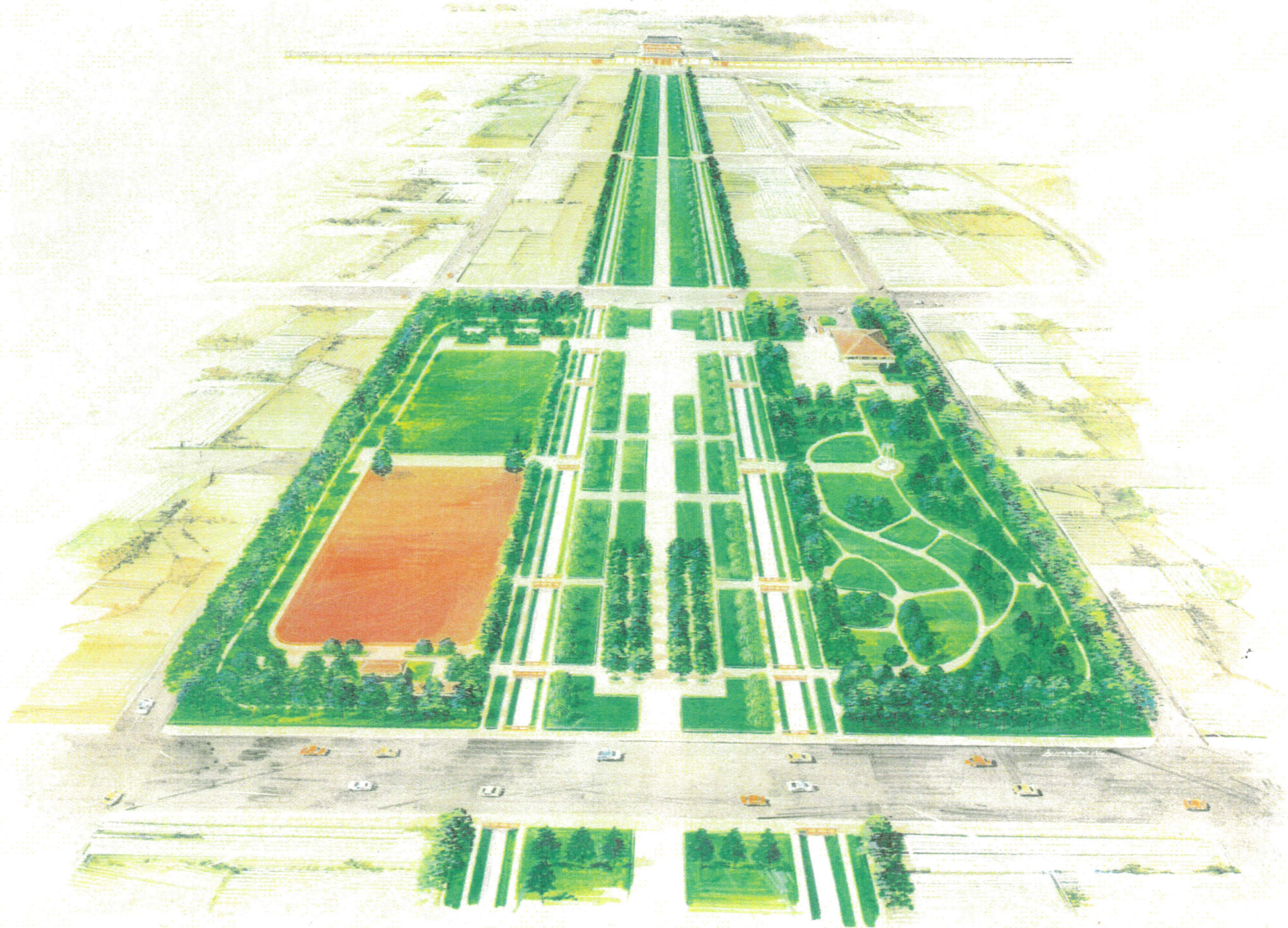


# 現代によみがえる 朱雀大路

奈良市は、1260余年前、かおり高い天平文化の花を咲かせた最初の都城・平城京のあったまちです。

奈良市はその歴史の示すところに従い「新平城京のまちづくり」を推進していますが、その中核となる朱雀大路と朱雀門の復元計画がいま着々と具体化しつつあります。

朱雀大路は北端の朱雀門から南端の羅城門まで全長3.7キロ、幅員約100mを復元して公園にします。公園は芝生や緑樹を主体にしてグラウンド、子供の広場、テニスコート、サイクリングセンター、多目的グラウンド、博物館、レストハウスなどを配置し、緑と水のあふれた世界的な史跡公園にする計画です。大路に面して当時の街区も一部復元するほか、道路沿いには西安から贈られた早柳を植えます。



現代によみがえる平城京朱雀大路の復元構想図